

北海道立学校ふるさと応援事業実施校一覧

公表内容				
管内	学校名	事業名	事業内容	必要性
上川	<a href="#">旭川東高等学校</a>	主体性・協同性を育む活動の充実	学習支援や学校家庭の連携、21世紀型スキル習得の課題解決のため、主体的に学び合えるICTを十分に活用できる学習環境の整備	国際社会が求めている課題解決に向けた能力・態度を育て、グローバル化社会の中でも通用する人材を育成するためには、先進的な教育ICTシステムを早急に構築し、よりICTを活用しやすい環境の確保が必要である。
上川	<a href="#">旭川農業高等学校</a>	次代を担う酪農家養成事業	牛の飼育管理に関する先進的な知識と技術、世界に通用するフレーム雄大な乳用牛の生産と全国共進会への出品活動、共進会に関わる先進的な知識と技術の習得	北海道酪農は全国の食を支えてきたが、その背景には先人達が取り組んで記きた乳牛改良がある。しかし、酪農も後継者不足が深刻化するなか、世界に通用する優良な乳用牛生産を行うことで、人材育成と持続可能な酪農を実践し、地域振興に寄与することが必要である。
上川	<a href="#">富良野高等学校</a>	ふらのアンバサダー（観光大使）育成事業	海外の観光先進地に生徒を派遣し、富良野の良さをアピールするとともに、現地高校生と交流を図る。さらに、観光先進地を視察し、これからの富良野の観光の在り方を探る（派遣地：オーストラリア・ニュージーランド等）	富良野市は道内有数の観光地であり、全世界から多くの観光客が訪れるが、観光を支える職業に就く生徒は少ない。将来、地域振興を目指す生徒が、通常の学習では習得することのできない体験や富良野の良さをアピールすることで、グローバルな視点で富良野の観光を考え、富良野の発展に寄与する人材の育成を目指したい。
上川	<a href="#">鷹栖高等学校</a>	スキー（クロスカントリー）部創設事業	本校開校以来の悲願であるスキー（クロスカントリー）部の創設のため、クロスカントリースキー競技及び練習に必要な用具等を整備	鷹栖町にはクロスカントリーの少年団があり、全国2位になった選手を輩出するなど町を挙げて応援しているが、有望選手は中学卒業後には町外の高校へ進学している。地元では開校以来、鷹栖高校にスキー部創設を求める声が多くあるため、生徒たちの練習環境を整えたい。
上川	<a href="#">上川高等学校</a>	国際交流の充実（カナダ海外派遣研修）事業	ロッキーマウンテンハウス町におけるホームステイによるホストファミリーとの交流及び町内各施設の見学、パンフ国立公園やバンクーバーの各施設の見学、環境学習	平成2年度から上川町の姉妹都市であるカナダ・ロッキーマウンテンハウス町に町の「ふるさと創生研修事業」の一貫として2名派遣しているが、参加した生徒は、次代を担う国際感覚を身につけ、校内でもリーダー的役割を果たしている。希望する生徒を1名でも多くこのような研修に参加させたい。
上川	<a href="#">上富良野高等学校</a>	「たくましくしなやかに」生徒を育むICT環境の充実	「十勝岳ジオパーク学習」を中心とした探究的学習活動等の新たな学びを支援し、教育の質を向上させるためのICT機器整備	本校では地域住民と連携した探究的な学習活動などを積極的に進めており、共同的な学習の実践や学習ポートフォリオ作成にあたりタブレットの必要性が高まっている。しかしながら現状の活動に限りがあるため、よりよい学習環境の中で課題解決に向けた能力・態度を育て、地域・社会に貢献できる人材を育てるため、ICT機器整備が必要である。